

中央大学書道會

こんにちは！ 中央大学書道會です。

大学内の桜も咲き誇り、春風が頬に心地の良い季節になりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。実り多い大学生活を過ごせることをお祈りしています。今号は総作品数が46点に及んだ「白門書展」（2月末）の様子と、先輩になった新2年生の作品を紹介します。

白門書展

2月24日から26日まで多摩センターのパルテノン多摩にて「白門書展」を開催しました。「白門書展」は年度内最後、また卒業生にとっては学生生活最後の書展です。総作品数46点の内、16点が卒業生の作品となり、それぞれの書道・書道會に対する思いや迫力が感じられる書展となりました。北風も冷たい中、のべ180人の方々がご来場くださり、大盛況の3日間でした。右ページでは、その中から新2年生の作品3点をご紹介します。



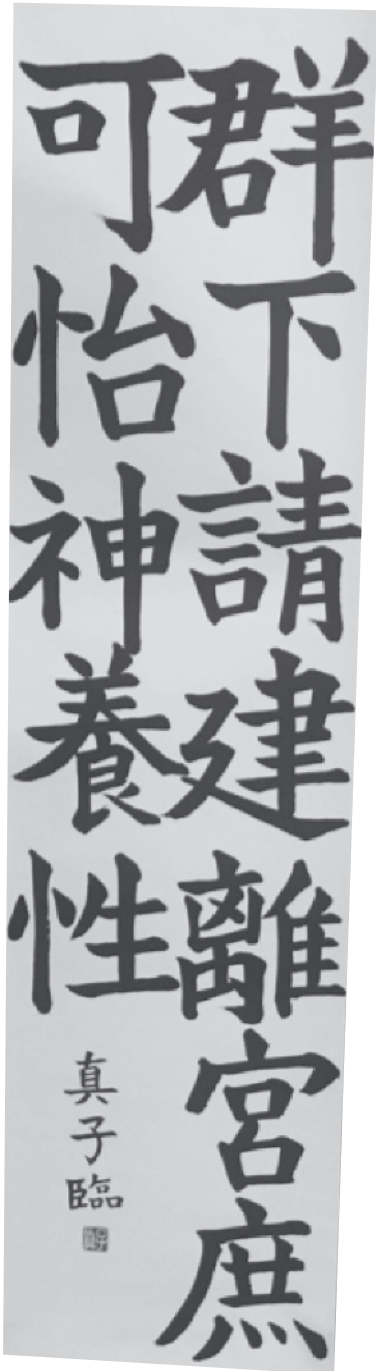
▲今年はフルカラーポスターが入口に



▲三代の書展係による合作



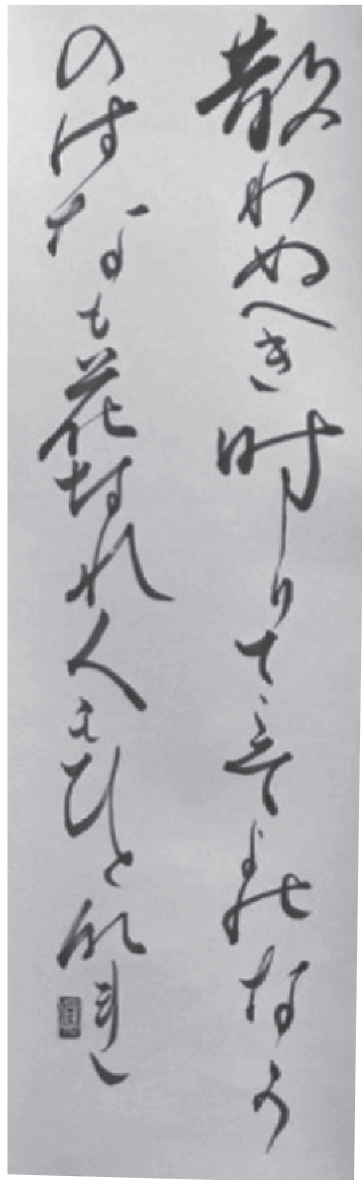
▲作品の配置が工夫された会場内の様子



◎臨 「九成宮醴泉銘」

法学部2年
黒佐真子

欧陽詢が1500年以上前に書いた作品の一部を臨書しました。欧陽詢の書の繊細さや美しさを表現できるように気をつけながら書きました。



◎創 「細川ガラシャの辞世の句より。」

法学部2年
森真梨世

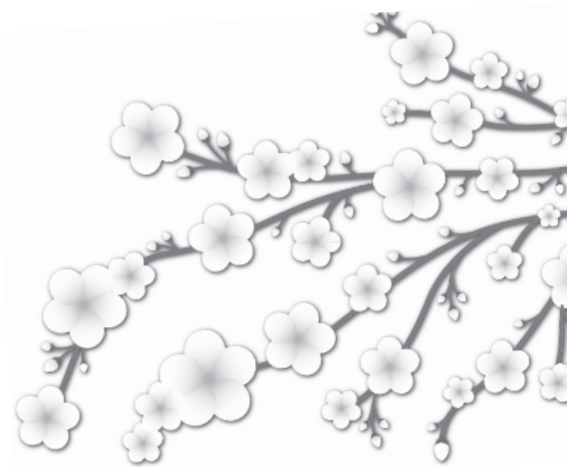
細川ガラシャの辞世の句を書きました。先生にアドバイスをいただきながら、自分で構成を考えました。かなを書く人が増えて欲しいと思います。



◎創 「優」

総合政策学部2年
島崎友理恵

春は多くの出会いがある季節ですが、相手を思いやるという優しい気持ちを持って接し、出会った人を大切にしていきたいとの思いからこの漢字を選びました。



★4月1日～7日まで、多摩キャンパス図書館下ギャラリーにて「新歓書展」を開催しています。「白門書展」の作品を大学内でご覧いただける機会です。ぜひお越しください。